

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7570045号
(P7570045)

(45)発行日 令和6年10月21日(2024.10.21)

(24)登録日 令和6年10月10日(2024.10.10)

(51)国際特許分類	F I
H 0 4 L 51/08 (2022.01)	H 0 4 L 51/08
G 0 6 F 3/0481(2022.01)	G 0 6 F 3/0481
H 0 4 L 51/046(2022.01)	H 0 4 L 51/046
H 0 4 L 51/52 (2022.01)	H 0 4 L 51/52

請求項の数 7 (全19頁)

(21)出願番号	特願2023-35229(P2023-35229)	(73)特許権者	504437801 グリー株式会社 東京都港区六本木六丁目11番1号
(22)出願日	令和5年3月8日(2023.3.8)	(74)代理人	100105957 弁理士 恩田 誠
(62)分割の表示	特願2021-171316(P2021-171316))の分割	(74)代理人	100068755 弁理士 恩田 博宣
原出願日	平成25年5月2日(2013.5.2)	(72)発明者	倉岡 寛 東京都港区六本木六丁目11番1号 グ リー株式会社内
(65)公開番号	特開2023-78224(P2023-78224A)	(72)発明者	ブラキン ダニエル 東京都港区六本木六丁目11番1号 グ リー株式会社内
(43)公開日	令和5年6月6日(2023.6.6)	審査官	中川 幸洋
審査請求日	令和5年3月8日(2023.3.8)		

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 端末装置の制御プログラム、端末装置の制御方法及び端末装置

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう処理部を備えた端末装置の制御プログラムであって、

前記端末装置の前記処理部を、

前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示するとともに、前記メッセージに前記他の端末装置が共有したコンテンツのリソースが含まれている場合には、前記コンテンツのダイジェストを外部サイトから取得し、前記コンテンツの前記ダイジェストを含むメッセージを表示するタイムライン表示部と、

前記ダイジェストを含むメッセージにおいて前記コンテンツの表示指示が入力された場合、当該メッセージに含まれるリソース情報を用いて前記外部サイトから前記コンテンツを取得し、前記コンテンツと、前記メッセージアプリケーション内での共有である内部共有及び外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の何れかを指示するための共有設定欄とを含むコンテンツ表示画面を出力する会話ビューと、

前記共有設定欄において前記内部共有が指示された場合に、前記メッセージアプリケーション内の共有先を選択するための選択画面を表示し、前記共有先が指定された場合に前記ダイジェストを含めたメッセージをさらに前記他の端末装置に表示させる内部共有部と、

前記共有設定欄において前記外部共有として前記外部のソーシャルメディアが選択された場合に、前記外部のソーシャルメディアの投稿画面を表示し、前記ダイジェストを含めたメッセージを外部ソーシャルメディアサーバに送信する外部共有部として機能させるこ

10

20

とを特徴とする端末装置の制御プログラム。

【請求項 2】

前記会話ビューは、前記端末装置の現在位置情報を取得し、前記現在位置情報を前記端末装置からのメッセージに含める

請求項 1 に記載の端末装置の制御プログラム。

【請求項 3】

前記処理部を、さらに、複数の異なる前記外部サイトから前記コンテンツを取得し、取得した複数の前記コンテンツを統合した画面であって前記端末装置が他の端末装置に前記コンテンツの共有を行うためのアグリゲート画面を表示するアグリゲータとして機能させる

請求項 1 又は 2 に記載の端末装置の制御プログラム。

10

【請求項 4】

前記アグリゲータは、前記外部サイトから前記コンテンツを取得する際に、前記コンテンツのフィルタリングを行なうための情報を保持し、当該情報に基づきフィルタリングされた前記コンテンツを取得する

請求項 3 に記載の端末装置の制御プログラム。

【請求項 5】

前記アグリゲータは、前記端末装置を用いるユーザの属性情報を用いて、前記ユーザに応じた前記コンテンツを取得する、

請求項 3 又は 4 に記載の端末装置の制御プログラム。

【請求項 6】

ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう処理部を備えた端末装置の制御方法であって、

前記端末装置の前記処理部が、

前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示するとともに、前記メッセージに前記他の端末装置が共有したコンテンツのリソースが含まれている場合には、前記コンテンツのダイジェストを外部サイトから取得し、前記コンテンツの前記ダイジェストを含むメッセージを表示し、

前記ダイジェストを含むメッセージにおいて前記コンテンツの表示指示が入力された場合、当該メッセージに含まれるリソース情報を用いて前記外部サイトから前記コンテンツを取得し、前記コンテンツと、前記メッセージアプリケーション内での共有である内部共有及び外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の何れかを指示するための共有設定欄とを含むコンテンツ表示画面を出力し、

前記共有設定欄において前記内部共有が指示された場合に、前記メッセージアプリケーション内の共有先を選択するための選択画面を表示し、前記共有先が指定された場合に前記ダイジェストを含めたメッセージをさらに前記他の端末装置に表示させ、

前記共有設定欄において前記外部共有として前記外部のソーシャルメディアが選択された場合に、前記外部のソーシャルメディアの投稿画面を表示し、前記ダイジェストを含めたメッセージを外部ソーシャルメディアサーバに送信することを特徴とする端末装置の制御方法。

【請求項 7】

ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう端末装置であって、

前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示するとともに、前記メッセージに前記他の端末装置が共有したコンテンツのリソースが含まれている場合には、前記コンテンツのダイジェストを外部サイトから取得し、前記コンテンツの前記ダイジェストを含むメッセージを表示するタイムライン表示部と、

前記ダイジェストを含むメッセージにおいて前記コンテンツの表示指示が入力された場合、当該メッセージに含まれるリソース情報を用いて前記外部サイトから前記コンテンツを取得し、前記コンテンツと、前記メッセージアプリケーション内での共有である内部共有及び外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の何れかを指示するための共有

40

50

設定欄とを含むコンテンツ表示画面を出力する会話ビューと、
 前記共有設定欄において前記内部共有が指示された場合に、前記メッセージアプリケーション内の共有先を選択するための選択画面を表示し、前記共有先が指定された場合に前記ダイジェストを含めたメッセージをさらに前記他の端末装置に表示させる内部共有部と、
 前記共有設定欄において前記外部共有として前記外部のソーシャルメディアが選択された場合に、前記外部のソーシャルメディアの投稿画面を表示し、前記ダイジェストを含めたメッセージを外部ソーシャルメディアサーバに送信する外部共有部と、を備えることを特徴とする端末装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、情報処理端末を用いたメッセージの送受信を行なう技術に関する。

【背景技術】

【0002】

今日、スマートフォン等のコンピュータ端末を用いて、ユーザ間でリアルタイムのメッセージ通信を行なうチャットサービスが提供されている（例えば、非特許文献1、2参照）。このチャットサービスにおいては、グループ登録されたユーザとの間で、メッセージ交換による会話（チャット）を行なう。このチャットサービスにおいては、テキストやデザイン化されたイラスト（ステッカ）を用いて会話を行なう。

【0003】

20

このチャットサービスにおいて、シームレスなメッセージ交換を実現するための技術が検討されている（例えば、特許文献1参照）。この文献に記載された技術においては、送信先と、当該送信先に送信されるべきメッセージとを受け付ける。そして、受け付けた送信先に関してメモリに登録されている1以上の通信方式から、優先順位が示された情報に従って通信方式を選択し、この通信方式によって、送信先にメッセージを送信する。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【文献】特許第5175402号公報（第1頁、図1）

【非特許文献】

30

【0005】

【文献】GREE, Inc., 「Tellit」[online]、平成25年4月19日、Google play、[平成25年4月28日検索]、インターネット URL : <https://play.google.com/store/apps/details?id=net.gree.android.app.messenger&hl=ja>

【文献】GREE, Inc., 「Tellit」[online]、平成25年4月24日、iTunes、[平成25年5月1日検索]、インターネット URL : <https://itunes.apple.com/app/id581075146>

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

40

【0006】

このようなチャットサービスを利用する場合、テキストやステッカだけでは、円滑な意思疎通を図ることができないことがある。例えば、インターネット上では多様なコンテンツが公開されている。このようなコンテンツを話題にする場合には、コンテンツそのものを情報共有することにより的確な意思疎通を実現することができる。しかしながら、このようなコンテンツを共有する場合、このコンテンツのリソース情報（例えば、リソースのURL）を、チャットサービス上のメッセージにインポートする等の手間がかかっていた。更に、リソース情報だけでは、コンテンツ内容を把握することが困難であり、円滑なコミュニケーションを実現することが難しいこともある。

【0007】

50

本発明は、上述した問題に鑑みてなされたものであり、その目的は、多様なコンテンツを利用して、円滑なコミュニケーションを図るための端末装置の制御プログラム、端末装置の制御方法及び端末装置を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記課題を解決する端末装置の制御プログラムは、ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう処理部を備えた端末装置の制御プログラムであって、前記端末装置の処理部を、前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示するタイムライン表示部と、コンテンツを管理する外部リソースからコンテンツを取得して表示するコンテンツビューと、前記コンテンツビューにより表示されたコンテンツにおいて共有を指示されたコンテンツを特定する特定部と、前記コンテンツの共有の指示が、チャットサービス内での共有である内部共有の指示であるか、又は外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の指示であるかを特定する共有先特定部と、前記内部共有が指示された場合には当該チャットサービスに応じた送信先を選択するための選択画面を表示し、前記外部共有が指示された場合には前記外部のソーシャルメディアに応じた送信先を選択するための選択画面を表示する選択画面表示部として機能させる。

10

【0009】

上記端末装置の制御プログラムについて、前記共有先特定部は、前記外部のソーシャルメディアに応じた送信先を選択するための選択画面を表示することが好ましい。

20

上記端末装置の制御プログラムについて、前記処理部を、前記タイムライン画面に含まれるメッセージオブジェクトの中に、共有された前記コンテンツを選択可能に表示する表示制御部としてさらに機能させることが好ましい。

上記端末装置の制御プログラムについて、前記特定部は、前記コンテンツビューにより表示されたコンテンツにおいて共有を指示された複数のコンテンツを特定し、前記外部共有部は、前記特定部により複数の前記コンテンツが特定された場合に、外部のソーシャルメディアサーバに対して前記特定されたコンテンツのリソース情報を含めた情報を前記コンテンツ毎に分けて送信することが好ましい。

【0010】

上記端末装置の制御プログラムについて、前記処理部を、前記端末装置の現在位置情報を取得する位置取得部としてさらに機能させ、前記表示制御部は、前記位置情報として前記端末装置の現在位置を前記メッセージに含めることが好ましい。

30

上記端末装置の制御プログラムについて、前記コンテンツビューは、前記コンテンツオブジェクトに含まれた現在位置情報が指定された場合に、当該現在位置情報に対応する位置を示す地図画面を表示することが好ましい。

上記端末装置の制御プログラムについて、前記コンテンツビューは、取得するコンテンツのフィルタリングを行なうための情報を保持し、当該情報に基づきフィルタリングされたコンテンツを取得することが好ましい。

上記端末装置の制御プログラムについて、前記処理部を、前記特定部によって特定された前記コンテンツが外部の前記メッセージアプリケーション内での共有である場合に、前記コンテンツの共有先の情報を表示し、前記指定された共有先に前記特定されたコンテンツのリソース情報を含めた情報を送信する内部共有部としてさらに機能させることが好ましい。

40

上記端末装置の制御プログラムについて、前記特定部は、前記コンテンツビューにより表示されたコンテンツにおいて共有を指示された複数のコンテンツを特定し、前記共有先特定部は、前記特定部により複数の前記コンテンツが特定された場合に、外部のソーシャルメディアサーバに対して前記特定されたコンテンツのリソース情報を含めた情報を前記コンテンツ毎に分けて送信することが好ましい。

【0011】

上記課題を解決する端末装置の制御方法は、ネットワークを介して、メッセージアプリ

50

ケーション内でメッセージの送受信を行なう処理部を備えた端末装置の制御方法であって、前記端末装置の処理部が、前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示し、コンテンツを管理する外部リソースからコンテンツを取得して表示し、表示されたコンテンツにおいて共有を指示されたコンテンツを特定し、前記コンテンツの共有の指示が、チャットサービス内での共有である内部共有の指示であるか、又は外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の指示であるかを特定し、前記内部共有が指示された場合には当該チャットサービスに応じた送信先を選択するための選択画面を表示し、前記外部共有が指示された場合には前記外部のソーシャルメディアに応じた送信先を選択するための選択画面を表示する。

上記課題を解決する端末装置は、ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう端末装置であって、前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示するタイムライン表示部と、コンテンツを管理する外部リソースからコンテンツを取得して表示するコンテンツビューと、前記コンテンツビューにより表示されたコンテンツにおいて共有を指示されたコンテンツを特定する特定部と、前記コンテンツの共有の指示が、チャットサービス内での共有である内部共有の指示であるか、又は外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の指示であるかを特定する共有先特定部と、前記内部共有が指示された場合には当該チャットサービスに応じた送信先を選択するための選択画面を表示し、前記外部共有が指示された場合には前記外部のソーシャルメディアに応じた送信先を選択するための選択画面を表示する選択画面表示部とを備える。

上記課題を解決する端末装置の制御プログラムは、ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう処理部を備えた端末装置の制御プログラムであって、前記端末装置の処理部を、前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示するとともに、前記他の端末装置が共有したコンテンツのダイジェストを含むメッセージを表示するタイムライン表示部と、前記ダイジェストを含むメッセージが選択された場合に、前記メッセージアプリケーション内での共有である内部共有及び外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の何れかを指示するための共有設定欄を含む画面を表示するコンテンツビューと、前記共有設定欄での前記ダイジェストを含むメッセージの共有の指示が、前記メッセージアプリケーション内での共有である内部共有の指示であるか、又は外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の指示であるかを特定する共有先特定部と、前記共有設定欄において前記内部共有が指示された場合には前記メッセージアプリケーション内の共有先を選択するための選択画面を表示し、前記共有設定欄において前記外部のソーシャルメディアが選択された場合には前記外部のソーシャルメディアの投稿画面を表示する画面表示部として機能させる。

【発明の効果】

【0012】

本発明によれば、多様なコンテンツを利用して、円滑なコミュニケーションを図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】本実施形態のシステム概略図。

【図2】本実施形態の画面遷移の説明図。

【図3】本実施形態の画面例の説明図。

【図4】本実施形態の画面遷移の説明図。

【図5】本実施形態の画面例の説明図。

【図6】本実施形態の処理手順の説明図。

【発明を実施するための形態】

【0014】

以下、メッセージ送受信を行なう端末装置の一実施形態を図1～図6に従って説明する

。本実施形態は、複数のクライアントの端末装置間でメッセージを送受信するチャットサービスに適用する場合を想定する。

【0015】

図1に示すように、本実施形態では、インターネット等のネットワークを介して接続された外部サイト10、ユーザ端末20、チャットサーバ30、外部ソーシャルメディアサーバ40を用いる。

【0016】

外部サイト10は、インターネット等において、各種リソースを提供しているサーバコンピュータである。この外部サイト10には、動画を提供している動画サイト、ニュースを提供しているニュースサイト等、様々なコンテンツリソースを利用することができる。

10

【0017】

ユーザ端末20は、スマートフォン等のように、チャットサービスの利用者のコンピュータ端末（情報処理端末）である。チャットサービスを最初に利用する場合には、ユーザ端末20を用いて、チャットサーバ30にアクセスして、チャットアプリケーションプログラムをダウンロードし、インストールする。

【0018】

このユーザ端末20は、CPU、RAM、ROM等からなる制御部や、データを記憶するメモリ、各種情報の入出力部を備えている。この制御部は、チャットアプリケーションプログラムを実行することにより、チャット部21として機能する。また、本実施形態では、入出力部としてタッチパネルディスプレイを用いる。更に、ユーザ端末20は、GPS（Global Positioning System）等を利用した位置情報取得部や、写真撮影を行なうためのカメラ部、集音のためのマイク部を備える。

20

【0019】

チャット部21はメッセージ処理部として機能し、会話ビュー210、メッセージ記憶部220、チャット先管理部230、コンテンツビュー240、内部共有部250、外部共有部260を備える。

【0020】

会話ビュー210は、チャットサービスにおいて送信や受信したメッセージを、タッチパネルディスプレイに表示されたタイムライン画面に出力する。会話ビュー210は、送信処理部211、受信処理部212、コンテンツ取得部213を備える。

30

【0021】

送信処理部211は、タッチパネルディスプレイにおいて入力されたメッセージを、自分の発言として表示するとともに、メッセージをチャットサーバ30に送信する処理を実行する。

【0022】

受信処理部212は、チャットサーバ30から取得したメッセージを、タッチパネルディスプレイにおいて、他者の発言として出力する処理を実行する。

コンテンツ取得部213は、会話ビュー210において出力されたメッセージに、リソース情報が含まれている場合には、このリソース情報を用いてコンテンツや概要情報（ダイジェスト）を取得する。例えば、リソース情報に基づいて外部サイト10を特定し、この外部サイト10からコンテンツのダイジェストを取得する。そして、会話ビュー210は、コンテンツ取得部213において取得したダイジェストを含めたメッセージを、タッチパネルディスプレイに出力する。

40

【0023】

メッセージ記憶部220には、チャットサービスを利用して送受信されたメッセージが記録される。

チャット先管理部230は、ユーザ端末20の利用者が属するチャットグループや、ユーザ端末20において指定された連絡先に関する情報が記録される。このチャットグループの参加ユーザや連絡先ユーザとの間でメッセージを送受信することができる。

【0024】

50

コンテンツビュー 240 は、各種リソースから取得したコンテンツを表示する処理を実行する。このコンテンツビュー 240 は、アグリゲータ 241 を備える。このアグリゲータ 241 は、外部サイト 10 から各種リソースを取得し、タッチパネルディスプレイにおいて一覧表示する。

【0025】

内部共有部 250 は、ユーザ端末 20 が取得したコンテンツを、チャットサービスを利用するチャットグループ内や連絡先ユーザにおいて共有する処理を実行する。共有するコンテンツとしては、外部サイト 10 等から取得したコンテンツや、ユーザ端末 20 内のリソース内のコンテンツ、チャットグループに属する他のユーザや連絡先ユーザから取得したコンテンツが含まれる。

10

【0026】

外部共有部 260 は、ユーザ端末 20 において取得したコンテンツを、外部のソーシャルメディアにおいて共有する処理を実行する。この外部共有の場合も、共有するコンテンツとしては、外部サイト 10 等から取得したコンテンツや、ユーザ端末 20 内のリソース内のコンテンツ、チャットグループに属する他のユーザや連絡先ユーザから取得したコンテンツが含まれる。この外部共有部 260 は、外部ソーシャルメディアサーバ 40 のアクセス先、アクセス時に必要なユーザのログイン認証情報（ユーザ ID、パスワード）等に関するデータを保持している。

【0027】

チャットサーバ 30 は、ユーザ端末 20 に対してチャットサービスの提供・管理を行なうコンピュータシステムである。このチャットサーバ 30 は、CPU、RAM 及び ROM 等からなるチャット管理部 31、メッセージ記憶部 32 を備える。更に、チャットサーバ 30 は、ユーザ管理部（図示せず）を備えている。

20

【0028】

チャット管理部 31 は、各ユーザ端末 20 からメッセージを取得し、メッセージ記憶部 32 に記録するとともに、チャットグループや連絡先に属する他のユーザ端末 20 に送信する処理を実行する。

メッセージ記憶部 32 には、各ユーザ端末 20 から取得したメッセージを、送信者情報、チャットグループ情報に関連付けて記録される。

ユーザ管理部は、チャットサービスのユーザやチャットグループの情報を管理する。

30

【0029】

外部ソーシャルメディアサーバ 40 は、公知のソーシャルメディアサービスを提供するサーバコンピュータである。ソーシャルメディアとしては、例えば、Facebook（登録商標）、twitter（登録商標）等を利用することができる。

【0030】

（画面遷移）

次に、図 2 を用いて、チャットサービスを利用する場合の画面遷移を説明する。

チャットサービスを利用してメッセージの送受信を行なう場合、このクライアントのユーザ端末 20 においてチャットアプリケーションプログラムを起動する。

【0031】

40

この場合、図 2 に示すように、チャット先管理部 230 が、チャット先リスト画面 500 をタッチパネルディスプレイに出力する。このチャット先リスト画面 500 には、ユーザが属するチャットグループや連絡先の一覧が表示される。

【0032】

チャット先リスト画面 500 においてチャットグループ又は連絡先が指定された場合、チャット部 21 の会話ビュー 210 は、タッチパネルディスプレイにタイムライン画面 510 を出力する。

【0033】

また、メッセージを生成する場合には、チャット部 21 の会話ビュー 210 を用いて、タッチパネルディスプレイに、テキスト入力画面 520 やステッカ選択画面 521 を出力

50

する。テキスト入力画面 5 2 0 においては、ソフトウェアキーボードが出力される。このソフトウェアキーボードを用いて、テキストからなるメッセージを生成する。また、ステッカ選択画面 5 2 1 においては、多様なイラスト（ステッカ）候補が表示される。このステッカ候補の中からメッセージとして使用するステッカを選択することにより、例えば、多種多様な感情や心境をイラストで表現したメッセージを生成することができる。

【 0 0 3 4 】

更に、メッセージには、多様なコンテンツを含めることができる。

例えば、外部サイト 1 0 で公開されているコンテンツをメッセージとして含める場合には、チャット部 2 1 のコンテンツビュー 2 4 0 を用いて、タッチパネルディスプレイに外部サイト画面 5 3 0 を表示する。

10

【 0 0 3 5 】

また、外部サイト 1 0 で公開されているコンテンツを利用する場合、これらのコンテンツを統合したアグリゲート画面 5 4 0 を用いることもできる。この場合には、コンテンツビュー 2 4 0 のアグリゲータ 2 4 1 を用いて、タッチパネルディスプレイにアグリゲート画面 5 4 0 を表示させる。このアグリゲート画面 5 4 0 には、複数の外部サイト 1 0 から取得した複数のコンテンツの一覧リストが表示される。このアグリゲート画面 5 4 0 において選択したコンテンツを外部サイト画面 5 3 0 で確認することもできる。

【 0 0 3 6 】

更に、位置情報をメッセージに含めることも可能である。この場合には、チャット部 2 1 のコンテンツビュー 2 4 0 を用いて、タッチパネルディスプレイに位置情報画面 5 5 0 A を表示する。ここで、ユーザ端末 2 0 は、GPS 等を利用した位置情報取得部を用いて現在位置を特定し、この位置情報画面 5 5 0 A に、この現在位置を地図上に表示する。

20

【 0 0 3 7 】

また、撮影画像をメッセージに含めることも可能である。この場合には、チャット部 2 1 のコンテンツビュー 2 4 0 を用いて、タッチパネルディスプレイにカメラ撮影画面 5 5 0 B を表示する。ここで、ユーザ端末 2 0 は、カメラ部等により撮影画像を生成し、カメラ撮影画面 5 5 0 B に撮影画像を表示する。なお、ユーザ端末 2 0 内のアルバムに蓄積された画像を表示させることもできる。更に、画像をステッカやテキストで装飾できるようにしてもよい。

また、位置情報や撮影画像だけではなく、ユーザ端末に入力されたボイス（音声データ）をコンテンツとして用いることも可能である。この場合には、ユーザ端末 2 0 は、マイク部等により取得した音声についての音声ファイルを用いる。

30

【 0 0 3 8 】

そして、外部サイト画面 5 3 0 やアグリゲート画面 5 4 0 を用いて、メッセージに含めるコンテンツが指定された場合、チャット部 2 1 の内部共有部 2 5 0 は、コンテンツの共有先を特定するために、タッチパネルディスプレイにチャット先リスト画面 5 6 0 を表示する。このチャット先リスト画面 5 6 0 において、コンテンツを共有するチャットグループや連絡先を指定する。共有先が指定された場合、チャット部 2 1 の内部共有部 2 5 0 は、タッチパネルディスプレイにコンテンツ共有確認画面 5 7 0 を表示する。このコンテンツ共有確認画面 5 7 0 において、コンテンツの共有可否について確認入力を行なう。

40

【 0 0 3 9 】

このコンテンツ共有確認画面 5 7 0 において共有可能が入力された場合には、チャット部 2 1 の会話ビュー 2 1 0 は、タイムライン画面 5 8 0 において、コンテンツを含めたメッセージを出力する。ここで、外部サイト画面 5 3 0 やアグリゲート画面 5 4 0 により指定した外部サイト 1 0 のコンテンツの場合には、会話ビュー 2 1 0 は、このコンテンツのダイジェストをメッセージに含める。

【 0 0 4 0 】

また、位置情報画面 5 5 0 A やカメラ撮影画面 5 5 0 B において、メッセージに含めるコンテンツを指定した場合には、チャット部 2 1 の会話ビュー 2 1 0 は、タイムライン画面 5 8 0 において、コンテンツを含めたメッセージを出力する。ここで、位置情報画面 5

50

50Aにより指定した位置情報の場合には、会話ビュー210は、チャット部21の地図上に現在位置を表示させるための位置情報をメッセージに含める。また、カメラ撮影画面550Bにより指定した撮影画像の場合には、チャット部21の撮影画像のダイジェストや一部をメッセージに含める。

【0041】

なお、これらのコンテンツを、外部ソーシャルメディアにおいて共有することが可能である。更に、タイムライン画面580上のメッセージに含まれるコンテンツについても、外部ソーシャルメディアにおいて共有することもできる。この場合には、チャット部21の外部共有部260は、タッチパネルディスプレイにソーシャルメディア共有画面590を表示する。このソーシャルメディア共有画面590において、コンテンツを含めた投稿を行なう。この場合、外部共有部260は、外部ソーシャルメディアサーバ40にアクセスする。そして、コンテンツを含めたメッセージを、外部ソーシャルメディアサーバ40に送信する。

10

【0042】

以下、図3を用いて、一部の画面について具体的な構成を説明する。なお、図3においては、外部のソーシャルメディアサービスにおけるコンテンツの共有手順については省略し、チャットサービス内でコンテンツを共有する場合を想定する。

【0043】

タイムライン画面510は、ユーザが送信したメッセージや、相手ユーザから取得したメッセージが時系列に表示される。タイムライン画面510においては、他者のメッセージは左寄り、自分のメッセージは右寄りに表示される。

20

【0044】

外部サイト10で公開されているコンテンツを共有する場合には、コンテンツを表示させた外部サイト画面530を利用する。この外部サイト画面530には、チャット内で共有するための共有ボタン531が表示される。そして、この共有ボタン531を選択することにより、共有するコンテンツを指定する。

【0045】

また、複数の外部サイト10から取得した多様なコンテンツの一覧リストを表示させたアグリゲート画面540を利用して、外部サイト10で公開されているコンテンツを指定することもできる。このアグリゲート画面540には、チャット内で共有するための共有ボタン541が表示されている。そして、この共有ボタン541を選択することにより、共有するコンテンツを指定する。

30

【0046】

共有ボタン531、541が選択された場合、コンテンツを共有するチャットグループや連絡先を指定するためのチャット先リスト画面560が表示される。チャット先リスト画面560において共有先が指定された場合、コンテンツ共有確認画面570の後で、タイムライン画面580においてメッセージ581が出力される。このメッセージ581には、選択されたコンテンツのダイジェストを含める。

【0047】

次に、図4を用いて、チャットグループに属する他のユーザ端末20に表示される画面の遷移を説明する。

40

【0048】

チャットを行なっている他のクライアントのユーザ端末20において、チャット部21の会話ビュー210は、タッチパネルディスプレイにタイムライン画面610を出力する。このタイムライン画面610には、他のクライアントのユーザ端末20から取得したメッセージが出力される。ここで、メッセージにリソース情報が含まれる場合には、コンテンツ取得部213が外部サイト10からコンテンツのダイジェストを取得し、タイムライン画面610上のメッセージに含める。

【0049】

このメッセージにおいて、コンテンツの表示指示が入力された場合、チャット部21の

50

コンテンツ取得部 2 1 3 は、リソース情報を用いて、外部サイト 1 0 からコンテンツを取得する。そして、コンテンツビュー 2 4 0 は、タッチパネルディスプレイに、コンテンツ表示画面 6 2 0 を出力する。この場合、このコンテンツ表示画面 6 2 0 においては、出力可能が入力されたコンテンツが表示される。

【 0 0 5 0 】

コンテンツ表示画面 6 2 0 に表示されたコンテンツを、他のユーザと共有することができる。この場合には、コンテンツ表示画面 6 2 0 において共有先を特定する。共有先としては、他のチャットグループで共有する場合と、外部ソーシャルメディアで共有する場合とがある。

【 0 0 5 1 】

他のチャットグループにおける共有が指定された場合、内部共有部 2 5 0 は、チャット先管理部 2 3 0 を用いて、チャット先リスト画面 6 3 0 を出力する。

そして、チャット先リスト画面 6 3 0 において、共有先を特定した場合、内部共有部 2 5 0 は、タッチパネルディスプレイにコンテンツ共有確認画面 6 4 0 を出力する。このコンテンツ共有確認画面 6 4 0 において、コンテンツの共有可否について確認入力を行なう。

【 0 0 5 2 】

このコンテンツ共有確認画面 6 4 0 において共有可能が入力された場合、チャット部 2 1 の会話ビュー 2 1 0 は、共有先のタイムライン画面 6 5 0 において、コンテンツを含めたメッセージを出力する。

【 0 0 5 3 】

一方、コンテンツ表示画面 6 2 0 において指定された外部ソーシャルメディアにおける共有が指示された場合、チャット部 2 1 の外部共有部 2 6 0 は、タッチパネルディスプレイに、ソーシャルメディアに投稿するための投稿画面 6 6 0 を出力する。そして、外部共有部 2 6 0 は、外部ソーシャルメディアサーバ 4 0 にアクセスする。そして、コンテンツを含めたメッセージを、外部ソーシャルメディアサーバ 4 0 に送信する。

【 0 0 5 4 】

以下、図 5 を用いて、一部の画面について具体的な構成を説明する。

タイムライン画面 6 1 0 においてメッセージ 6 0 1 が出力される。このメッセージ 6 0 1 には、選択されたコンテンツのダイジェストを含める。

【 0 0 5 5 】

タイムライン画面 6 1 0 においてメッセージ 6 0 1 が選択された場合、コンテンツ表示画面 6 2 0 が出力される。このコンテンツ表示画面 6 2 0 には、共有設定欄 6 2 1 が設けられている。この共有設定欄 6 2 1 には、共有先候補のアイコンが出力される。ここでは、共有先として、外部ソーシャルメディア（Facebook（登録商標）、twitter（登録商標））、図面では、それぞれ「FB」、「TW」と表記）や、他のチャットグループを選択することができる。

【 0 0 5 6 】

他のチャットグループを選択した場合には、共有先のチャットグループを指定するためのチャット先リスト画面 6 3 0 が出力される。

一方、外部ソーシャルメディア（例えば、Facebook（登録商標））を選択した場合、このソーシャルメディアに投稿するための投稿画面 6 6 0 が出力される。

【 0 0 5 7 】

次に、図 6 を用いて、チャットサービスの利用場面を説明する。ここでは、クライアント A からクライアント B に、コンテンツを含めたメッセージを送信する。そして、クライアント B は、クライアント A から取得したコンテンツを、クライアント C と共有する場合を想定する。

【 0 0 5 8 】

まず、クライアント A のユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、複数のリソースからのコンテンツ取得処理を実行する（ステップ S 1 - 1）。具体的には、チャット部 2 1 のアグリゲータ 2 4 1 は、外部サイト 1 0 から各種コンテンツを取得する。

10

20

30

40

50

【 0 0 5 9 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、アグリゲート処理を実行する（ステップ S 1 - 2）。具体的には、コンテンツビュー 2 4 0 のアグリゲータ 2 4 1 は、取得した各種コンテンツをまとめたアグリゲート画面 5 4 0 を生成する。そして、コンテンツビュー 2 4 0 は、生成したアグリゲート画面 5 4 0 をタッチパネルディスプレイに表示する。

【 0 0 6 0 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、コンテンツの選択処理を実行する（ステップ S 1 - 3）。具体的には、クライアント A において、アグリゲート画面 5 4 0 に表示されたコンテンツの中から、共有するコンテンツを指定する。この場合、チャット部 2 1 の内部共有部 2 5 0 は、タッチパネルディスプレイにコンテンツ共有確認画面 5 7 0 を表示する。

10

【 0 0 6 1 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、メッセージ表示処理を実行する（ステップ S 1 - 4）。具体的には、共有の確認入力が行なわれた場合には、チャット部 2 1 の会話ビュー 2 1 0 は、メッセージをメッセージ記憶部 2 2 0 に記録する。更に、会話ビュー 2 1 0 は、コンテンツ取得部 2 1 3 を用いて、外部サイト 1 0 からコンテンツのダイジェストを取得する。なお、このダイジェストは、サーバ側にキャッシュされたデータを用いることも可能である。そして、会話ビュー 2 1 0 は、タイムライン画面に、ダイジェストを含めたメッセージを表示する。

【 0 0 6 2 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、メッセージ送信処理を実行する（ステップ S 1 - 5）。具体的には、送信処理部 2 1 1 は、メッセージをチャットサーバ 3 0 に送信する。このメッセージには、発言者情報、コンテンツのデータ種別、リソース情報、チャットグループ等を特定する識別子を含める。ここで、データ種別は、テキスト、画像、位置情報、カメラ画像、ボイス等のデータの種別を特定するための情報である。

20

【 0 0 6 3 】

次に、クライアント B のユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、メッセージ受信処理を実行する（ステップ S 2 - 1）。具体的には、チャットサーバ 3 0 のチャット管理部 3 1 は、クライアント A のユーザ端末 2 0 から取得したメッセージを、メッセージ記憶部 3 2 に登録する。そして、チャット管理部 3 1 は、登録されたメッセージを、チャットグループに属する他のクライアントのユーザ端末 2 0 に送信する。そして、クライアント B のユーザ端末 2 0 は、チャットサーバ 3 0 からメッセージを取得する。

30

【 0 0 6 4 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、外部コンテンツについてのメッセージかどうかについての判定処理を実行する（ステップ S 2 - 2）。具体的には、チャット部 2 1 の受信処理部 2 1 2 は、取得したメッセージのデータ種別に基づいて判定する。

【 0 0 6 5 】

データ種別に基づいて、外部コンテンツについてのメッセージと判定した場合（ステップ S 2 - 2 において「YES」の場合）、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、外部コンテンツの取得処理を実行する（ステップ S 2 - 3）。具体的には、チャット部 2 1 の会話ビュー 2 1 0 は、コンテンツ取得部 2 1 3 を用いて、リソース情報に基づいて、外部サイト 1 0 からダイジェストを取得する。

40

【 0 0 6 6 】

一方、外部コンテンツについてのメッセージでないと判定した場合（ステップ S 2 - 2 において「NO」の場合）、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、外部コンテンツの取得処理（ステップ S 2 - 3）をスキップする。

【 0 0 6 7 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、メッセージ表示処理を実行する（ステップ S 2 - 4）。具体的には、会話ビュー 2 1 0 は、取得したメッセージをタッチパネルディスプレイのタイムライン画面 6 1 0 に出力する。

50

【 0 0 6 8 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、コンテンツの選択処理を実行する（ステップ S 2 - 5）。具体的には、タイムライン画面 6 1 0 に出力されたメッセージにおいて、コンテンツを確認するメッセージを指定する。この場合、コンテンツビュー 2 4 0 は、外部サイト 1 0 からコンテンツを外部サイト 1 0 から取得し、タッチパネルディスプレイに出力する。そして、コンテンツを、他のチャットグループに属するユーザや連絡先ユーザとの間で共有する場合を想定する。

【 0 0 6 9 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、共有方法の選択処理を実行する（ステップ S 2 - 6）。具体的には、内部共有部 2 5 0 は、チャット先管理部 2 3 0 を用いて、このユーザが属するチャットグループや連絡先を含めたチャット先リスト画面 6 3 0 をタッチパネルディスプレイに出力する。そして、このチャット先リスト画面 6 3 0 において共有先のチャットグループ又は連絡先を指定する。ここでは、共有先としてクライアント C を指定する場合を想定する。

10

【 0 0 7 0 】

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、ステップ S 1 - 4 と同様に、メッセージ表示処理を実行する（ステップ S 2 - 7）。

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、ステップ S 1 - 5 と同様に、メッセージ送信処理を実行する（ステップ S 2 - 8）。

【 0 0 7 1 】

メッセージを受信したクライアント C のユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、ステップ S 2 - 1 と同様に、メッセージ受信処理を実行する（ステップ S 3 - 1）。

次に、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、ステップ S 2 - 2 と同様に、外部コンテンツについてのメッセージかどうかについての判定処理を実行する（ステップ S 3 - 2）。

20

【 0 0 7 2 】

外部コンテンツについてのメッセージと判定した場合（ステップ S 3 - 2 において「YES」の場合）、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、ステップ S 2 - 3 と同様に、外部コンテンツの取得処理を実行する（ステップ S 3 - 3）。一方、外部コンテンツについてのメッセージでないと判定した場合（ステップ S 3 - 2 において「NO」の場合）、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、外部コンテンツの取得処理（ステップ S 3 - 3）をスキップする。

そして、ユーザ端末 2 0 のチャット部 2 1 は、ステップ S 2 - 4 と同様に、メッセージ表示処理を実行する（ステップ S 3 - 4）。

30

【 0 0 7 3 】

上記実施形態によれば、以下のような効果を得ることができる。

（ 1 ）上記実施形態では、チャット部 2 1 は、会話ビュー 2 1 0、メッセージ記憶部 2 2 0、チャット先管理部 2 3 0、コンテンツビュー 2 4 0、内部共有部 2 5 0、外部共有部 2 6 0 を備えている。コンテンツビュー 2 4 0 は、各種リソースから取得したコンテンツを表示する処理を実行する。そして、内部共有部 2 5 0 は、ユーザ端末 2 0 において取得したコンテンツを、チャットサービスを利用するチャットグループ内や連絡先ユーザと共有する処理を実行する。これにより、チャットアプリケーションプログラムにより機能するチャット部 2 1 において、ユーザが共有を希望するコンテンツを特定することができる。従って、ユーザの操作負担を軽減しながら、チャットサービスにおいて、コンテンツの共有を行なうことができる。

40

【 0 0 7 4 】

（ 2 ）上記実施形態では、外部共有部 2 6 0 は、ユーザ端末 2 0 において取得したコンテンツを、外部のソーシャルメディアにおいて共有する処理を実行する。これにより、チャットサービスにおいて取得したコンテンツを、他のソーシャルメディアサービスにおいて共有することができる。

【 0 0 7 5 】

50

(3) 上記実施形態では、コンテンツビュー 240 は、アグリゲータ 241 を備えている。これにより、複数の外部リソースから取得したコンテンツを、チャットグループ、連絡先ユーザや外部ソーシャルメディアサービスにおいて共有することができる。

【0076】

(4) 上記実施形態では、チャット部 21 の会話ビュー 210 は、コンテンツ取得部 213 を備える。このコンテンツ取得部 213 は、会話ビュー 210 において出力されたメッセージに、データ種別が含まれている場合には、リソース情報を用いてコンテンツや概要情報(ダイジェスト)を取得する。これにより、タイムライン画面に表示されたメッセージにおいて、コンテンツの概要を把握することができる。

【0077】

なお、上記実施形態は以下のように変更してもよい。

・上記実施形態では、アグリゲータ 241 は、外部サイト 10 から各種リソースを取得する。ここで、アグリゲータ 241 が、取得するコンテンツのフィルタリングを行なうようにしてもよい。例えば、アグリゲータ 241 に、フィルタリングを行なうためのキーを保持させておく。そして、アグリゲータ 241 は、各外部サイト 10 から、このキーに対応してフィルタリングされたコンテンツを取得する。これにより、フィルタリングされたコンテンツを提供することができる。

【0078】

更に、クライアント毎に異なるキーを保持させるようにしてもよい。この場合には、ユーザ端末 20 において、クライアントの趣向に対応したキーを特定して、アグリゲータ 241 に保持させる。これにより、クライアントに応じたコンテンツを提供することができる。更に、当該ユーザがよく閲覧するコンテンツや、シェアしたコンテンツに関する属性情報をキーとして用いることにより、表示に重み付けを付与することができる。また、サーバ側からキーを提供することにより、他のユーザがよく閲覧するコンテンツの傾向を利用することができる。

【0079】

・上記実施形態では、コンテンツビュー 240 は、外部サイト 10 からコンテンツを取得する。このコンテンツは、チャットサーバ 30 を経由して取得するようにしてもよい。これにより、チャットサーバ 30 において、コンテンツの利用状況を把握することができる。更に、複雑で計算コストの高い処理をサーバ側で実行させることができる。

【0080】

・上記実施形態では、ユーザ端末 20 のコンテンツビュー 240 は、アグリゲータ 241 を備えている。このアグリゲータ 241 は、外部サイト 10 から各種リソースを取得し、タッチパネルディスプレイにおいて、一覧表示する。このアグリゲータを、チャットサーバ 30 等のサーバ側にも設けるようにしてもよい。また、サーバサイドとクライアントサイドとの両方の組み合わせで構成することも可能である。複数の外部サイト 10 からコンテンツを取得する場合、サイト毎にコンテンツ取得用インターフェース(API)が異なっていたり、各種ウェブサイトの更新情報を簡単にまとめた文書フォーマットである RSS 仕様に差分があったりすることがある。このような状況においても、チャットサーバ 30 において、この差分をまとめて吸収して、アグリゲーション後のコンテンツを各ユーザ端末 20 に提供することができる。また、異なったサイトのフィードを結合して、かつ、時系列に並び替えたフィードを作成することもできる。更に、サーバ側にアグリゲータを設けることにより、ユーザ端末 20 の処理負担やコスト負担を軽減することができる。

【0081】

更に、チャットサーバ 30 に設けたアグリゲータにおいて、コンテンツのフィルタリングを行なうようにしてもよい。この場合にも、サーバサイドで実現する場合、クライアントサイドで実現する場合、両方の組み合わせする場合がある。

【0082】

これにより、チャットサーバ 30 において、クライアントに提供するコンテンツのフィルタリングを行なうことができる。更に、他のユーザの閲覧頻度が高いコンテンツや、シ

10

20

30

40

50

エア頻度が高いコンテンツに関する属性情報をキーとして用いることにより、表示に重み付けを付与するようによい。例えば、頻度に応じたコンテンツのランキングや推奨（「おすすめ」）を作成してユーザ端末20に提供することができる。

更に、チャットサービスの利用ユーザ全員に対して、コンテンツを共有するようによい。この場合には、ランキングや時系列でコンテンツを紹介する。

【0083】

・上記実施形態では、ユーザ端末20のメッセージ記憶部220には、チャットサービスを利用して送受信されたメッセージが記録される。更に、チャットサーバ30のメッセージ記憶部32には、各ユーザ端末20のメッセージが記録される。メッセージ記憶部を設ける場所は、ユーザ端末20やチャットサーバ30に限定されるものではなく、いずれか一方に設けるようによい。

10

【0084】

・上記実施形態では、コンテンツビュー240において指定されたコンテンツを、内部共有部250や外部共有部260において、チャット内や外部ソーシャルメディアにおいて共有する。ここで、一度に共有できるコンテンツの数は一つに限定されるものではない。例えば、複数のコンテンツを同時期に指定できるようにしてもよい。チャットグループや連絡先において共有する場合には、指定された複数のコンテンツを、複数のメッセージに展開して送信する。また、外部ソーシャルメディアにおいて共有する場合には、指定された複数のコンテンツを分けて個別に外部ソーシャルメディアサーバ40に投稿する。これにより、チャットサービスやソーシャルメディアへのメッセージ送信において、1回の送信容量に制限がある場合にも、複数回に分けて、複数のコンテンツを効率的に共有することができる。

20

【0085】

更に、複数のチャットグループ、連絡先や複数のソーシャルメディア、これらの組み合わせにおいて共有できるようにしてもよい。この場合、チャット部21は、クライアントにおいて指定されたチャットグループ、連絡先やソーシャルメディアに対して、個別にメッセージや投稿データを生成し、送信する。これにより、複数のコンテンツを、複数のグループ間で効率的に共有することができる。

【0086】

・上記実施形態では、外部サイト画面530やアグリゲート画面540を用いて、外部サイト10のコンテンツを選択する。ここで、各表示画面において、外部サイト10から提供されるコンテンツ（例えば、動画）を検索できるようにしてもよい。この場合には、各表示画面（例えば、タイムライン画面）にコンテンツを選択するためのアクションバーを設ける。このアクションバーは、外部サイト10にアクセスするための情報を保持するとともに、この外部サイト10においてコンテンツを検索するための検索キーの入力欄が設けられている。そして、アクションバーにおいて検索キーが入力された場合、外部サイト10にアクセスし、検索キーに対応するコンテンツ情報を取得して、検索結果を一覧表示させた検索結果画面を出力する。そして、この検索結果画面において選択されたコンテンツを、内部共有部250や外部共有部260において、コンテンツの共有処理を行なう。これにより、各表示画面において、コンテンツを効率的に検索することができる。

30

40

【0087】

次に、上記実施形態及び別例から把握できる技術的思想について以下に追記する。

[1]

ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう処理部を備えた端末装置の制御プログラムであって、

前記端末装置の処理部を、

前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示するタイムライン表示部と、

コンテンツを管理する外部リソースからコンテンツを取得して表示するコンテンツビューと、

50

前記コンテンツビューにより表示されたコンテンツにおいて共有を指示されたコンテンツを特定する特定部と、

前記コンテンツの共有の指示が、チャットサービス内での共有である内部共有の指示であるか、又は外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の指示であるかを特定する共有先特定部と、

前記内部共有が指示された場合には当該チャットサービスに応じた送信先を選択するための選択画面を表示し、前記外部共有が指示された場合には前記外部のソーシャルメディアに応じた送信先を選択するための選択画面を表示する選択画面表示部として機能させることを特徴とする端末装置の制御プログラム。

[2]

前記共有先特定部は、外部のソーシャルメディアサーバに接続され、前記ソーシャルメディアサーバに対して、前記特定されたコンテンツのリソース情報を含めた情報を送信する [1] に記載の端末装置の制御プログラム。

[3]

前記処理部を、

前記タイムライン画面に含まれるメッセージオブジェクトの中に、共有された前記コンテンツを選択可能に表示する表示制御部としてさらに機能させる [1] 又は [2] に記載の端末装置の制御プログラム。

[4]

前記処理部を、前記端末装置の現在位置情報を取得する位置取得部としてさらに機能させ、

前記表示制御部は、前記現在位置情報として前記端末装置の現在位置をメッセージに含める [3] に記載の端末装置の制御プログラム。

[5]

前記コンテンツビューは、前記現在位置情報が指定された場合に、当該現在位置情報に対応する位置を示す地図画面を表示する [4] に記載の端末装置の制御プログラム。

[6]

前記コンテンツビューは、取得するコンテンツのフィルタリングを行なうための情報を保持し、当該情報に基づきフィルタリングされたコンテンツを取得する [1] ~ [5] のいずれか 1 項に記載の端末装置の制御プログラム。

[7]

前記処理部を、

前記特定部によって特定された前記コンテンツが外部の前記メッセージアプリケーション内での共有である場合に、前記コンテンツの共有先の情報を表示し、指定された前記共有先に前記特定されたコンテンツのリソース情報を含めた情報を送信する内部共有部としてさらに機能させる [1] ~ [6] のいずれか 1 項に記載の端末装置の制御プログラム。

[8]

前記特定部は、前記コンテンツビューにより表示されたコンテンツにおいて共有を指示された複数のコンテンツを特定し、

前記共有先特定部は、前記特定部により複数の前記コンテンツが特定された場合に、外部のソーシャルメディアサーバに対して前記特定されたコンテンツのリソース情報を含めた情報を前記コンテンツ毎に分けて送信する [1] ~ [7] のいずれか 1 項に記載の端末装置の制御プログラム。

[9]

ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう処理部を備えた端末装置の制御方法であって、

前記端末装置の処理部が、

前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示し、

コンテンツを管理する外部リソースからコンテンツを取得して表示し、

10

20

30

40

50

表示されたコンテンツにおいて共有を指示されたコンテンツを特定し、

前記コンテンツの共有の指示が、チャットサービス内での共有である内部共有の指示であるか、又は外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の指示であるかを特定し、

前記内部共有が指示された場合には当該チャットサービスに応じた送信先を選択するための選択画面を表示し、前記外部共有が指示された場合には前記外部のソーシャルメディアに応じた送信先を選択するための選択画面を表示することを特徴とする端末装置の制御方法。

[1 0]

ネットワークを介して、メッセージアプリケーション内でメッセージの送受信を行なう端末装置であって、

前記端末装置からのメッセージ及び他の端末装置からのメッセージをタイムライン画面に表示するタイムライン表示部と、

コンテンツを管理する外部リソースからコンテンツを取得して表示するコンテンツビューと、

前記コンテンツビューにより表示されたコンテンツにおいて共有を指示されたコンテンツを特定する特定部と、

前記コンテンツの共有の指示が、チャットサービス内での共有である内部共有の指示であるか、又は外部のソーシャルメディアでの共有である外部共有の指示であるかを特定する共有先特定部と、

前記内部共有が指示された場合には当該チャットサービスに応じた送信先を選択するための選択画面を表示し、前記外部共有が指示された場合には前記外部のソーシャルメディアに応じた送信先を選択するための選択画面を表示する選択画面表示部と、を備えることを特徴とする端末装置。

【符号の説明】

【 0 0 8 8 】

1 0 ... 外部サイト、 2 0 ... ユーザ端末、 2 1 0 ... 会話ビュー、 2 2 0 ... メッセージ記憶部、 2 3 0 ... チャット先管理部、 2 4 0 ... コンテンツビュー、 2 4 1 ... アグリゲータ、 2 5 0 ... 内部共有部、 2 6 0 ... 外部共有部、 3 0 ... チャットサーバ、 4 0 ... 外部ソーシャルメディアサーバ。

10

20

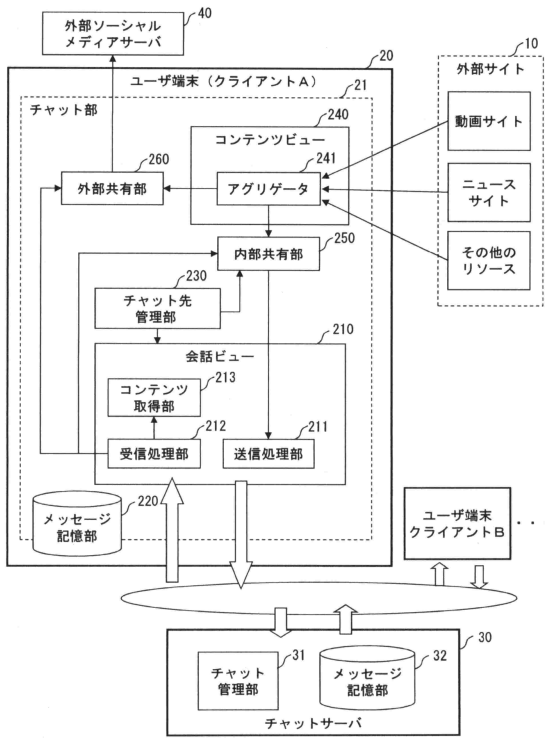
30

40

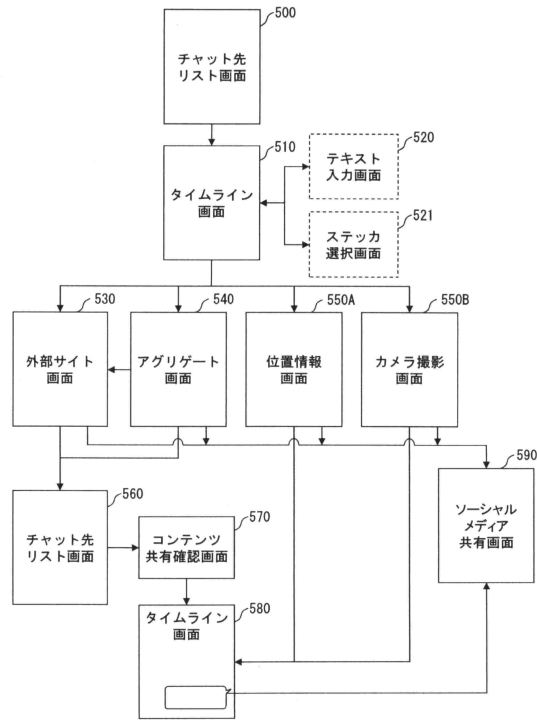
50

【図面】

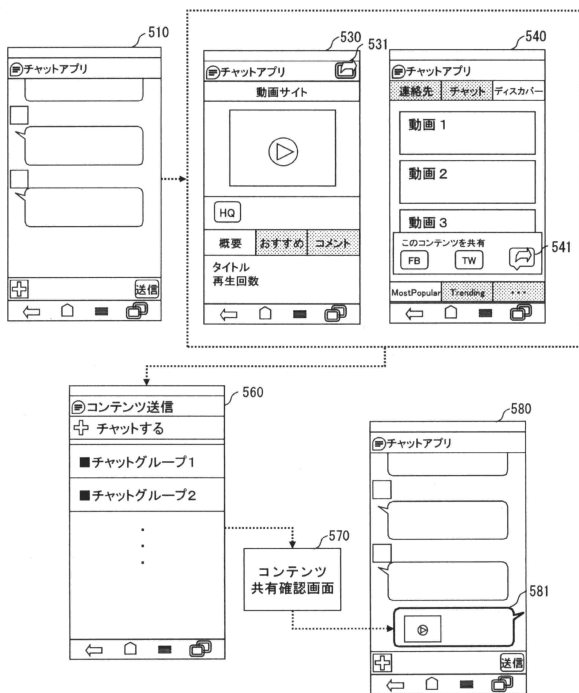
【図 1】



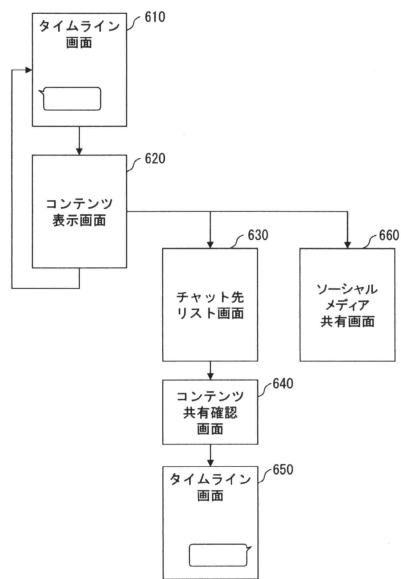
【図 2】



【図 3】



【図 4】



10

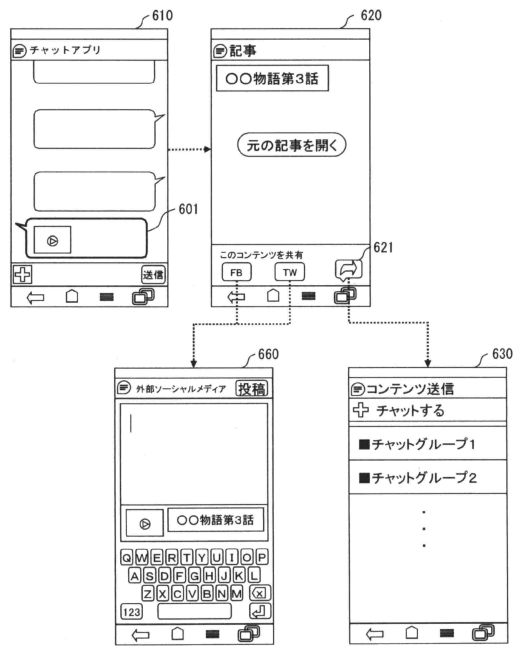
20

30

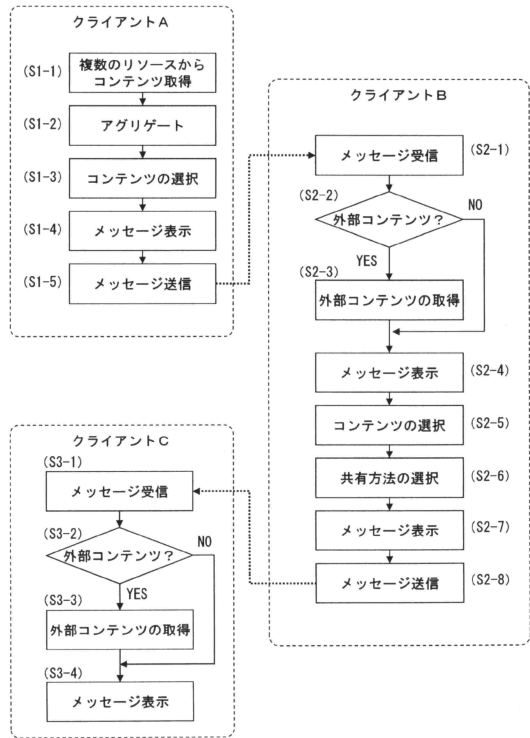
40

50

【図5】



【図6】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 国際公開第2011/115286(WO,A1)
特表2014-503091(JP,A)
特開2012-247841(JP,A)
米国特許出願公開第2004/0177116(US,A1)
米国特許出願公開第2009/0024463(US,A1)
森嶋 良子 RYOUKO MORISHIMA, LINE Perfect GuideBook 初版
，日本，株式会社ソーテック社 柳澤 淳一，2012年11月30日，「はじめに」,pp.75-82,180-183
ミュージシャンのためのFacebook活用ガイド，サウンド&レコーディング・マガジン 7月号 ，第31巻，日本，古森 優 株式会社リットーミュージック，2012年07月01日，pp.68-79
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
H04L 51/08
G06F 3/0481
H04L 51/046
H04L 51/52